

2015年11月20日

海外インターンシップ（SEAFDEC） 募集要項

東京大学海洋アライアンス

海洋アライアンスでは、海外インターンシッププログラムとして、新たに東南アジア漁業開発センター（SEAFDC）への新規募集を今年度より行うことになりました。応募を希望する学生は、以下の応募要項をよく読んだ上で書類を提出してください。書類選考の後、二次選考として面接を行います。選考にあたっては、実習テーマを実施するにあたって必要な専門性やスキル、また英語力等を総合的に評価します。面接対象となった学生には、面接日も含めて直接連絡をします。なお実習の成果については、派遣先の国際機関・研究機関に対してだけでなく、東京大学海洋アライアンスにも報告をして頂くことになります。

1) 実習場所：

Southeast Asian Fisheries Development Center（SEAFDEC、タイ）

(1) Secretariat（バンコク市内）

(2) Training Department (TD)（サムットプラカーン（バンコクの南約30km））

2) 実習期間：

未定（2016年1月下旬～3月下旬（2カ月）を軸に調整）

3) 実習テーマ

① SEAFDECのホームページ（<http://www.seafdec.org/>）や別掲の会議一覧を参考にしながら、自身の専門・研究に合わせてテーマを設定する。

② 以下の3テーマから選択してもよい。

(1) 東南アジア諸国から日米欧に水産物を輸出する際の課題抽出とその解決方法

(2) 漁業統計データが不完全な条件下で水産資源管理を行う際の課題抽出とその解決方法

(3) 漁業取締能力が不完全な条件下で水産資源管理を行う際の課題抽出とその解決方法

※派遣決定後に、SEAFDECと協議の上で派遣日程・場所と合わせて最終決定する。

4) 選抜方法：一次選考：書類、二次選考：面接

5) 応募書類：

(1) 履歴書（東大書式、写真貼付）：日本語版・英語版各1部

※職歴等は特記事項に記載する。

※TOEIC, TOEFL等のスコアがあれば、「免許・試験・資格等（その他）」に記載する。

※その他、特記事項があれば記載する。

(2) エントリーシート（wordファイル）

テーマを設定し、自身の専門を踏まえてどのように課題に取り組んでいくか、その計画の概要を英文にて300～350 wordsでまとめること。

(3) 指導教員からの推薦状

書式は定めないが、応募者の専門・研究テーマを踏まえて、応募機関でのインターン参加への推薦理由を記述した内容とする。指導教員の署名したものをpdf化して提出する。

※公共政策の学生は個別に相談すること。

(4) 研究計画書

実習テーマで①その他を選択した場合には、背景、目的、方法、計画をA4（40行/頁を基準）1ページ程度で英文にて作成し、提出すること。②の(1)～(3)を選択した場合には、本計画書は不要。

6) 書類提出先：以下の宛先にメール送信すること

海洋アライアンス 特任准教授 山本光夫 (kaigai@oa.u-tokyo.ac.jp)（専用アドレス）

7) 提出期限：2015年12月7日（月）17時00分迄

8) その他：

- ・ 渡航費用（航空券、宿泊費など）は海洋アライアンスより支援（原則として全額）します。
- ・ その他、質問等がある場合には、山本宛にメールで連絡してください。